



新篠津村・農業観光生産者協議会

【新篠津村】

はじめは？

しんしのつ温泉「たっぷの湯」で料理長を務める小岩さんは、買い出しに出かける新篠津村内の地元の農家から、「自分達の美味しい農産物を村外の人にももっと知ってもらいたい」という思いを聞いていました。また、「たっぷの湯」は道の駅に形態が変わってから利用者が多くなりましたが、その多くは道の駅のスタンプラリー目的などで訪れており、滞在時間は5分ほどと短いものでした。

そこで、小岩さんが中心となり、道の駅の利用者の滞在時間を長くできないかという考えと農家の思いを合わせて、道の駅内に観光客向けの収穫体験案内施設「畑の案内所」の設置を考え、村内の農家や村役場、観光協会、JAにも呼び掛け、新篠津村・農業観光生産者協議会を発足させました。



ピーマン嫌いの子供が生で食べられるようになる人気のピーマン収穫体験

おもな活動



新篠津村産の農産物を主材料とした加工品の開発、販売

「畑の案内所」では、家族連れも多く訪れ、観光客の好みを聞いて農家を紹介しています。そして、消費者や子供達に収穫体験をしてもらうことによって、農業とそこから生まれる食物の大切さを理解してもらえるよう活動しています。

また、収穫体験の他、新篠津村の農産物を道央圏以外の人にもPRする活動を行っており、道内外のホテルや百貨店等への新篠津村産農産物の出荷や、旅行会社のバスツアーでの車内販売に取り入れてもらっています。

さらに、新篠津村の農産物を主材料とした加工品の開発、販売にも取り組み、新篠津村の農産物の良さを伝え、「新篠津村」をブランド化する活動を行っています。

ここが自慢

【新篠津村の農産物を観光資源に】

「畑の案内所」が新設されたことがきっかけで、人口約3,500人の新篠津村に毎年5,000人ほどの「畑の案内所」の利用客が訪れるようになりました。このようにして、「畑の案内所」による収穫体験を通じて、観光客が村内のあちこちに足を運び、人の交流が生まれています。

農家と観光客が触れ合うことで、農家は農産物に対する責任感が強くなりました。また、観光客から「農産物おいしい」、「また来たい」と言ってもらえることによって、農家のやりがいにもつながっています。



JAによる味噌づくり体験

データ

■代表者：小岩靖志さん／設立：2012年／会員：20名

■連絡先：石狩郡新篠津村第45線北2番地 しんしのつ温泉たっぷの湯内

■電話：0126-58-3166

■FAX：0126-58-3966

■HP：<http://tappunoyu.com>